



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 出光興産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5019 URL <https://www.idemitsu.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木藤 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部IR室長 (氏名) 関根 宗宏 TEL 03-3213-9307
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,647,185	44.7	279,040	465.5	302,969	—	199,928	—
2021年3月期第3四半期	3,211,318	△29.6	49,343	△54.4	14,558	△84.1	△7,516	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 201,953百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △5,129百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	672.51	—
2021年3月期第3四半期	△25.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,489,868	1,362,205	29.3
2021年3月期	3,954,443	1,215,136	29.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,317,598百万円 2021年3月期 1,150,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2022年3月期	—	60.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,580,000	44.4	300,000	114.2	330,000	204.5	220,000	530.0	739.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	297,864,718株	2021年3月期	297,864,718株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	558,638株	2021年3月期	596,197株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	297,286,087株	2021年3月期3Q	297,269,269株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内の主な石油製品需要は、昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大による落ち込みから回復を続けており、航空機及び電力向けを中心に増加しました。

原油価格は、上期においては欧米を中心にワクチン接種が進み経済回復の進展に伴う需要の増加及び価格が高騰した石炭及び天然ガス等の代替燃料としての需要増加等を背景に継続的に上昇しました。下期に入ると欧州での新型コロナウイルス感染再拡大や米国による戦略的石油備蓄の放出示唆等を受け、更に11月末にオミクロン株の世界的な感染拡大に伴う需要減退懸念により、価格は一時的に大幅下落に転じましたが、オミクロン株の重症化リスクは低い可能性があるとの情報もあり、年末にかけては持ち直しました。この結果、ドバイ原油の4～12月の平均価格は前年同期比32.9ドル/バレル上昇の72.3ドル/バレルとなりました。

(原油価格、為替レートの状況)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
ドバイ原油 (ドル/バレル)	39.4	72.3	+32.9	+83.5%
為替レート (円/ドル)	106.1	111.1	+5.0	+4.7%

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、原油及び石炭等の資源価格の上昇などにより、4兆6,472億円(前年同期比+44.7%)となりました。

営業利益は、燃料油セグメントにおける原油価格の上昇に伴う在庫評価影響や資源セグメントにおける資源価格上昇などにより、2,790億円(前年同期比+465.5%)となりました。

営業外損益は、持分法投資損益の改善などにより、239億円(前年同期比+587億円)の利益となりました。その結果、経常利益は3,030億円(前年同期比+2,884億円)となりました。

特別損益は、固定資産減損損失計上などにより、64億円(前年同期比+27億円)の損失となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を合わせた税金費用は、税金等調整前四半期純利益の増加により997億円(前年同期比+899億円)となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,999億円(前年同期比+2,074億円)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内子会社が3月であるため、当第3四半期連結累計期間の業績については、海外子会社は2021年1月～9月期、国内子会社は2021年4月～12月期について記載しています。

セグメント別売上高

(単位：億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
燃料油	25,096	36,048	+10,952	+43.6%
基礎化学品	2,226	3,963	+1,737	+78.1%
高機能材	2,517	3,027	+510	+20.3%
電力・再生可能エネルギー	902	924	+21	+2.4%
資源	1,324	2,468	+1,144	+86.5%
その他	49	43	△5	△11.3%
合計	32,113	46,472	+14,359	+44.7%

セグメント別利益又は損失(△) (営業損益+持分法投資損益)

(単位: 億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
燃料油 (在庫評価影響除き)	55 (649)	2,368 (737)	+2,312 (+88)	— (+13.5%)
基礎化学品	△10	76	+86	—
高機能材	95	142	+47	+49.4%
電力・再生可能エネルギー	△17	△76	△58	—
資源	45	564	+519	—
その他	8	7	△1	△12.1%
調整額	△43	△109	△66	—
合計 (在庫評価影響除き)	134 (728)	2,973 (1,342)	+2,839 (+614)	— (+84.5%)

[燃料油セグメント]

燃料油セグメントの売上高は、原油価格の上昇などにより、3兆6,048億円(前年同期比+43.6%)となりました。セグメント損益は、在庫評価影響や持分法投資損益の改善などの増益要因により、2,368億円(前年同期比+2,312億円)となりました。

[基礎化学品セグメント]

基礎化学品セグメントの売上高は、ナフサ価格が上昇したことなどにより3,963億円(前年同期比+78.1%)となりました。セグメント損益は、スチレンモノマーをはじめとした製品マージンの改善などにより76億円(前年同期比+86億円)となりました。

[高機能材セグメント]

高機能材セグメントの売上高は、3,027億円(前年同期比+20.3%)となり、セグメント損益は、機能化学品事業におけるビスフェノールA市況上昇や電子材料事業の増販などにより142億円(前年同期比+49.4%)となりました。

[電力・再生可能エネルギーセグメント]

電力・再生可能エネルギーセグメントの売上高は、924億円(前年同期比+2.4%)となりました。セグメント損益は、電力事業における卸市場価格の上昇に伴う調達コスト上昇などにより△76億円(前年同期比△58億円)となりました。

[資源セグメント]

(石油・天然ガス開発事業・地熱事業)

石油・天然ガス開発事業は、ベトナムガス田の生産増加及び原油価格の上昇などにより、売上高は707億円(前年同期比+201.4%)となり、セグメント損益は、349億円(前年同期比+570.2%)となりました。

(石炭事業・その他事業)

石炭事業・その他事業の売上高は、石炭価格の上昇などにより、1,761億円(前年同期比+61.7%)となり、セグメント損益は、215億円(前年同期比+222億円)となりました。

以上の結果、資源セグメント合計の売上高は、2,468億円(前年同期比+86.5%)、セグメント損益は564億円(前年同期比+519億円)となりました。

[その他セグメント]

その他セグメントの売上高は、43億円(前年同期比△11.3%)となり、セグメント損益は7億円(前年同期比△12.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明
要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減
流動資産	16,655	21,934	+5,278
固定資産	22,889	22,965	+76
資産合計	39,544	44,899	+5,354
流動負債	16,213	19,602	+3,389
固定負債	11,180	11,675	+494
負債合計	27,393	31,277	+3,884
純資産合計	12,151	13,622	+1,471
負債純資産合計	39,544	44,899	+5,354

①資産の部

資産合計は、原油価格の上昇などによる売掛金及び棚卸資産の増加等により、4兆4,899億円（前期末比+5,354億円）となりました。

②負債の部

負債合計は、原油価格の上昇などによる買掛金の増加及び未払法人税等の増加等により、3兆1,277億円（前期末比+3,884億円）となりました。

③純資産の部

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,999億円の計上や配当金の支払い357億円などにより、1兆3,622億円（前期末比+1,471億円）となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の29.1%から29.3%へ0.2ポイント改善し、ネットD/Eレシオにおいても前期末の1.02から0.98へ0.04ポイント改善しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月9日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,343	89,402
受取手形及び売掛金	602,661	853,873
棚卸資産	694,522	949,417
その他	238,511	301,666
貸倒引当金	△1,521	△1,000
流動資産合計	1,665,516	2,193,359
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	309,885	347,496
土地	808,037	782,445
その他(純額)	403,977	368,582
有形固定資産合計	1,521,899	1,498,524
無形固定資産		
のれん	159,006	151,970
その他	160,245	160,763
無形固定資産合計	319,252	312,733
投資その他の資産		
投資有価証券	239,196	258,869
その他	210,737	229,262
貸倒引当金	△2,160	△2,881
投資その他の資産合計	447,774	485,250
固定資産合計	2,288,926	2,296,508
資産合計	3,954,443	4,489,868
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	530,697	723,552
短期借入金	334,309	307,608
コマーシャル・ペーパー	188,005	259,001
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払金	406,890	388,931
未払法人税等	18,422	85,225
賞与引当金	11,392	6,575
その他	111,568	179,313
流動負債合計	1,621,286	1,960,208
固定負債		
社債	100,000	130,000
長期借入金	637,468	648,524
退職給付に係る負債	49,232	41,095
修繕引当金	73,197	86,158
資産除去債務	77,647	79,854
その他	180,474	181,822
固定負債合計	1,118,019	1,167,454
負債合計	2,739,306	3,127,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,351	168,351
資本剰余金	461,635	460,507
利益剰余金	400,579	566,225
自己株式	△2,008	△1,874
株主資本合計	1,028,559	1,193,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,792	5,263
繰延ヘッジ損益	△1,209	△3,948
土地再評価差額金	159,585	157,819
為替換算調整勘定	△47,207	△39,720
退職給付に係る調整累計額	5,410	4,974
その他の包括利益累計額合計	122,371	124,388
非支配株主持分	64,206	44,606
純資産合計	1,215,136	1,362,205
負債純資産合計	3,954,443	4,489,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,211,318	4,647,185
売上原価	2,861,744	4,042,868
売上総利益	349,574	604,317
販売費及び一般管理費	300,230	325,276
営業利益	49,343	279,040
営業外収益		
受取利息	7,664	6,505
受取配当金	3,823	3,282
持分法による投資利益	—	18,239
為替差益	—	2,696
その他	4,108	5,205
営業外収益合計	15,596	35,930
営業外費用		
支払利息	9,296	8,689
持分法による投資損失	35,979	—
為替差損	2,793	—
その他	2,312	3,311
営業外費用合計	50,381	12,001
経常利益	14,558	302,969
特別利益		
固定資産売却益	1,612	11,595
過去勤務費用償却益	—	2,144
撤去費用戻入益	889	—
その他	611	4,038
特別利益合計	3,112	17,777
特別損失		
減損損失	13	10,477
固定資産売却損	501	3,766
固定資産除却損	4,063	5,092
投資有価証券評価損	3,070	209
在外子会社における送金詐欺損失	3,750	—
その他	819	4,634
特別損失合計	12,218	24,180
税金等調整前四半期純利益	5,453	296,566
法人税等	9,774	99,695
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,321	196,871
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,195	△3,057
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,516	199,928

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,321	196,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,620	△501
繰延ヘッジ損益	3,666	△2,904
為替換算調整勘定	△7,338	7,790
退職給付に係る調整額	435	△354
持分法適用会社に対する持分相当額	△191	1,051
その他の包括利益合計	△808	5,082
四半期包括利益	△5,129	201,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,438	203,536
非支配株主に係る四半期包括利益	2,308	△1,583

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、次のとおりです。

(1) 本人及び代理人取引に係る収益認識

従来、一部の取引については顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしています。

(2) 第三者のために回収する額に係る収益認識

従来、一部の取引については第三者のために回収する額を対価の総額から除かず収益計上していましたが、第三者のために回収する額については、預り金に計上することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40,959百万円減少し、売上原価は36,811百万円減少し、販売費及び一般管理費は4,183百万円減少し、営業利益は35百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ46百万円増加しています。また、利益剰余金の当期首残高は970百万円増加しています。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 4
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,509,597	222,563	251,694	90,240	132,358	3,206,455	4,863	3,211,318	—	3,211,318
セグメント間の内部売 上高又は振替高	22,332	14,753	13,601	2,851	727	54,266	1,244	55,510	△55,510	—
売上高計	2,531,930	237,317	265,295	93,091	133,086	3,260,721	6,107	3,266,829	△55,510	3,211,318
営業利益又は営業損失 (△)	42,732	△1,669	9,621	△1,618	3,873	52,938	811	53,750	△4,406	49,343
持分法投資利益又は 損失(△)	△37,203	663	△85	△130	639	△36,115	—	△36,115	136	△35,979
セグメント利益又は 損失(△)	5,528	△1,006	9,536	△1,749	4,513	16,823	811	17,634	△4,270	13,363

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. 営業利益又は営業損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. 持分法投資利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法適用会社に係るものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資損失とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 4
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,604,757	396,281	302,674	92,371	246,786	4,642,871	4,313	4,647,185	—	4,647,185
セグメント間の内部売 上高又は振替高	21,069	20,832	13,163	2,363	2	57,431	1,348	58,780	△58,780	—
売上高計	3,625,827	417,113	315,837	94,734	246,789	4,700,303	5,662	4,705,965	△58,780	4,647,185
営業利益又は営業損失 (△)	224,332	6,875	12,743	△7,567	54,977	291,361	712	292,074	△13,034	279,040
持分法投資利益	12,431	760	1,504	3	1,404	16,105	—	16,105	2,134	18,239
セグメント利益又は 損失(△)	236,764	7,635	14,248	△7,564	56,382	307,466	712	308,179	△10,899	297,280

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. 営業利益又は営業損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. 持分法投資利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法適用会社に係るものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資利益とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

燃料油セグメントの重油発電装置の一部につき減損損失5,218百万円、電力・再生可能エネルギーセグメントのソーラー関連の一部資産につき減損損失2,951百万円、資源セグメントの石炭鉱山資産の一部につき減損損失1,407百万円を計上しました。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(収益認識に関する会計基準等の適用)

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識に関する会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の算定方法を同様に変更しています。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「燃料油」の売上高は22,270百万円減少、セグメント利益は230百万円減少し、「電力・再生可能エネルギー」の売上高は12,373百万円減少、セグメント損失は277百万円減少しました。なお、他の報告セグメントの売上高及びセグメント利益に与える影響は軽微です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。